

成人向け

by. WILD
DUCK

奴隷戦士 マヤ

Ⅰ 暗闘編

Ⅰ

volume 3



by. WILD
DUCK

奴隷戦士 マヤ

！
暗闘編

！
volume. 3



あたしは
その日…

奴隷娼婦として
路上で身体を売る
覚悟を決めました

あっ…

奴隷娼婦か…

路上で素っ裸で
売りをやってる
なんて 場末の
最低の淫売だな

はい…あたしは
変態牝豚で肉奴隷の
マヤと申します

男の肉棒を喰える
事しか能がない
こんなあたしに

どうか皆様方の
お情けを頂戴したく
存じます

衆人環視の全裸
オナニーを敢行し
人間としての尊厳を
捨て去ったあたしには
もつ後戻りは
出来ませんでした



その時あたしは
必死になつて
ある種のいいわけを
自分自身に言い
聞かせていました



ごめんなさい
……マヤは
盛りのついた
ふしだらな
子です

これは
夢よ!!

なにかして
欲しいんだ？
自分の口で
言ってみな

あ…

あ
あっ
!!

はっ
…

は……ああっ!!

目が覚めてしまえば
あたしは元の普通の
女子〇生で 平凡な
暮らしに戻るのよ

——だから
こつでどんなに
穢されても
貶められても

どれどれ
淫乱お姫様の
お望みをとくと
拝聴させて
もらおうぜ

目が覚めれば
関係ない事
なんだわ!!

あたしは
悪い夢を
見ているん
だわ：

はい

でも
それでも

はあ



おっ…おい!!

マヤはいつも
自分のオチ○チンを
弄りながらオマ○コに
突っ込んでよがり
狂わせてくれる――

男の人の肉棒の事
ばかり考えている
イケない子です



どうか こんな
救い難い牝豚に
お仕置きして
下さい!!

これはこの世界
だけの夢の中の
出来事なんだから
……

ここであたしが
どんなふうになりて
はしたない真似を
しても――

恥知らずな
痴態を曝しても
大丈夫なのよ!!



あたしの
射精するところ
見てエ!!

んあああっ!!



はっはっはっ!!
この牝豚 自分から
チ○コしごき出し
やがったぜ!!

狂ってやがる!!



あっ!!



はい...

.....



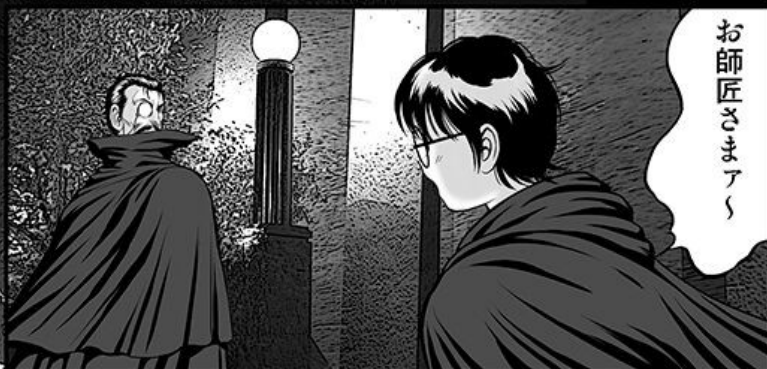
へへ...
いいだろう

淫乱牝豚へのお仕置きだ...
ご奉仕しな



はあ
はあ
どき

はあ



お師匠さまア



誰が師匠だ
講義の最中に
居眠りするような
無礼な弟子を
持った覚えはない

そんなア



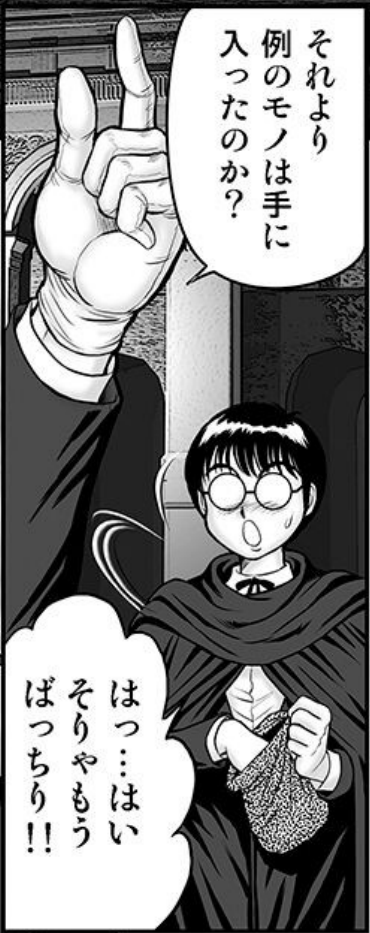
純度99・7%の
オルガナイザー・オーブ
形態形成用魔法石

手に入れるのに
苦労しましたよ



ふむ…
悪くない

で、でしょう!!



それより
例のモノは手に
入ったのか?

はっ…はい
そりやもう
ばっちり!!





ぎゃつ!!!



待て
曲せ者!!

あっ!!



放っておけ

えっ?

でも...



ヨハン公の
手の者か
それとも
フェルダン卿
か……?

まあ
いそぎ...



これは現実
ではないん
だから!!

ご覧になって
下さい…

マヤの牝豚ま〇こは
もうぐちよぐちよです

づいづい…

男の人の肉棒を
啜えたがって
涎を垂らしている
精液便所です

こんな卑しい
変態奴隷の
汚いま〇こで
よろしかったら
存分にぶち込んで
子宮を精液で満た
してやって下さい

あ…ありがとうございます!!

よし
良く言えた
ご褒美を
やろう

ん…ん…ん…!!



ゴオン



ゴオン



こりゃ収穫は
ゼロだな...

帝國軍の戦艦が
係留されているって
言っから来てみた
けど...



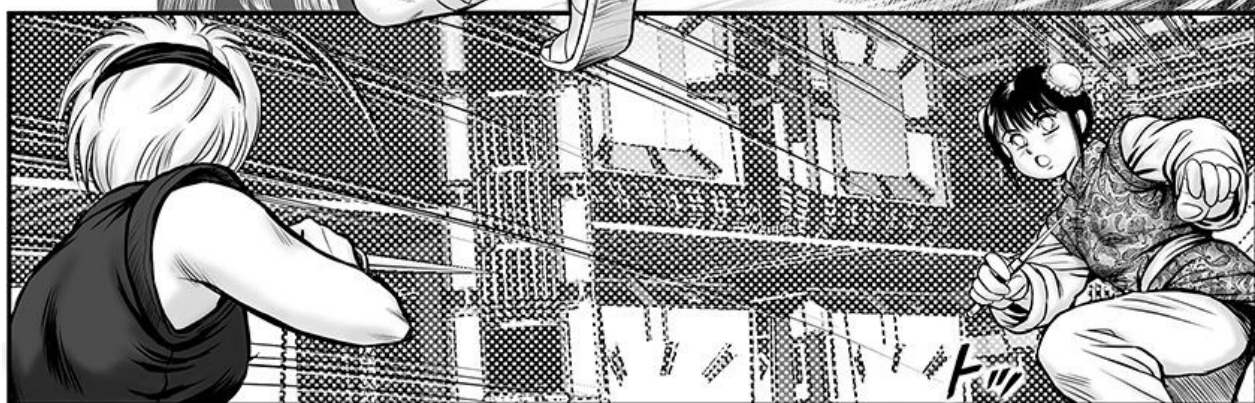
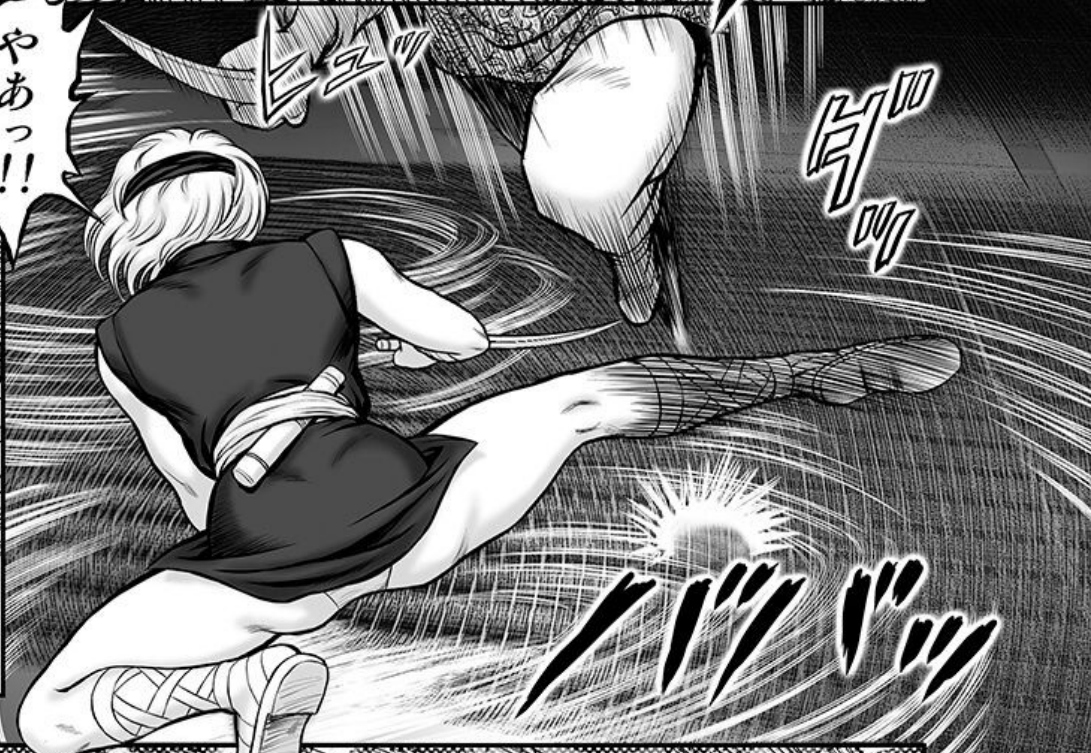
ゴ

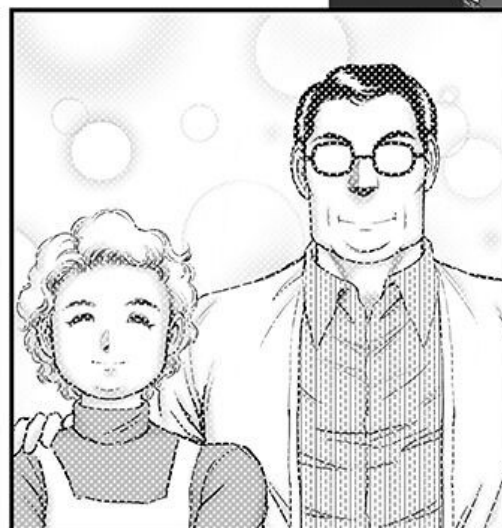
ゴ



はっ!!

てい!!







ごめんなさい!!
お父さんお母さん

マヤは素っ裸で
路上を徘徊して
見知らぬ男の人たちに
身体を売る 奴隷娼婦に
なっちゃったの!!



チャリリ〜チャ〜レカ
キャンキャン
チャリリ〜レ〜♪

どんな仕事で
あろうと
職業に貴賤なし
頑張るんだぞ
まや!!

食事だけは
ちゃんと摂って
身体に気を
つけるのよ!!



お父さん
お母さん
見てエ!!

ぶるん

ぶるん

マヤはこんなに
破廉恥ではしたない
女の子になって
しまったの!!



あらあら
まやつたら
……

ズンキトズンキヤ
ズンキヤカキャンキャン♪



うむ…
腰の振りが
いまひとつだな
父さんの括約筋
だらだら肛門で
バナナが切れるぞ

はっ

いやだわ
何ですか
お父さんつたら!!

親にまでこんな
はしたない恥知らずな
姿を見せているん
ですもの……

あたしは本当に
救い難い程淫乱な
変態牝豚になつて
しまったんだわ
……

もう迷わないわ!!
今なら何でもできる!!
何でもしてやる!!

あっ!!

ブキューウ……

人間以下の生き物に
なつて墮ちる所まで
堕ちてやる!!

さあ今度は
俺のモノを
しゃぶりな!
喉の奥までな……

お父さんとお母さんが
見守っていて
くれればあたし
大丈夫よ……

きっといつか
元の世界に
帰れる日が
来るわ……

なんだ?
こいつさつきから
訳の解らないこと
言ってるぞ

まあ
無理もねえだろう
こんな惨めな生活
していて正気で
いられる訳がねえ

む…ん

その調子よ
まや

一人前の立派な
収録唄師になる
ため日々努力
精進あるのみだ

お父さんお母さん
あたしいつか
元の世界へ帰れる
日を夢見て
頑張っているの!!

そのためなら
這いつくばっても
どんなに穢され
辱められても
耐え抜いて
見せるわ!!

だからあたしの事
見守っていて!!

ごめん
まや…

父さん今日は
会社の接待ゴルフに
行かなきゃ
ならないんだ

えっ?

ごめんなさい
まや

お母さんも
近所の寄り台いで
ママさんコーラスの
練習があるの

ホホホ…

まやももう
○校生になつた
んだから
大人の都合も
考えなきゃ
ダメよ

じゃあな
まや…
行ってくるよ

ズンチャズンチャ
ズンチャカチャンチャ♪

あ……

ズンチャズンチャ
ズンチャカチャンチャ♪

パパア!!
ママア!!

あたしを
見捨て
ないで!!

アッアッアッアッ

うるせえぞ
この牝豚!!

さつきから何
訳の判んねえ事
喚いているんだ!!

ブ
ビュ
ビュ

アッ
アッ
んあああ!!

ドンドコドンドコドンドコドンドコドンドコドンドコ

オラア!!
本番はまだ
これからだぜ

!!
いやっ!!

待ってください
お父さんとお母さん
が行っちゃう!!

ふたりに
見守っていて
もらわないと
あたし——
元の世界へ
帰れないんです

やかましい!!
この牝豚女

ああっ!!

肉便器のくせに
つべこべ言うな!!

これが
おまえの口の
正しい
使い方だ!!

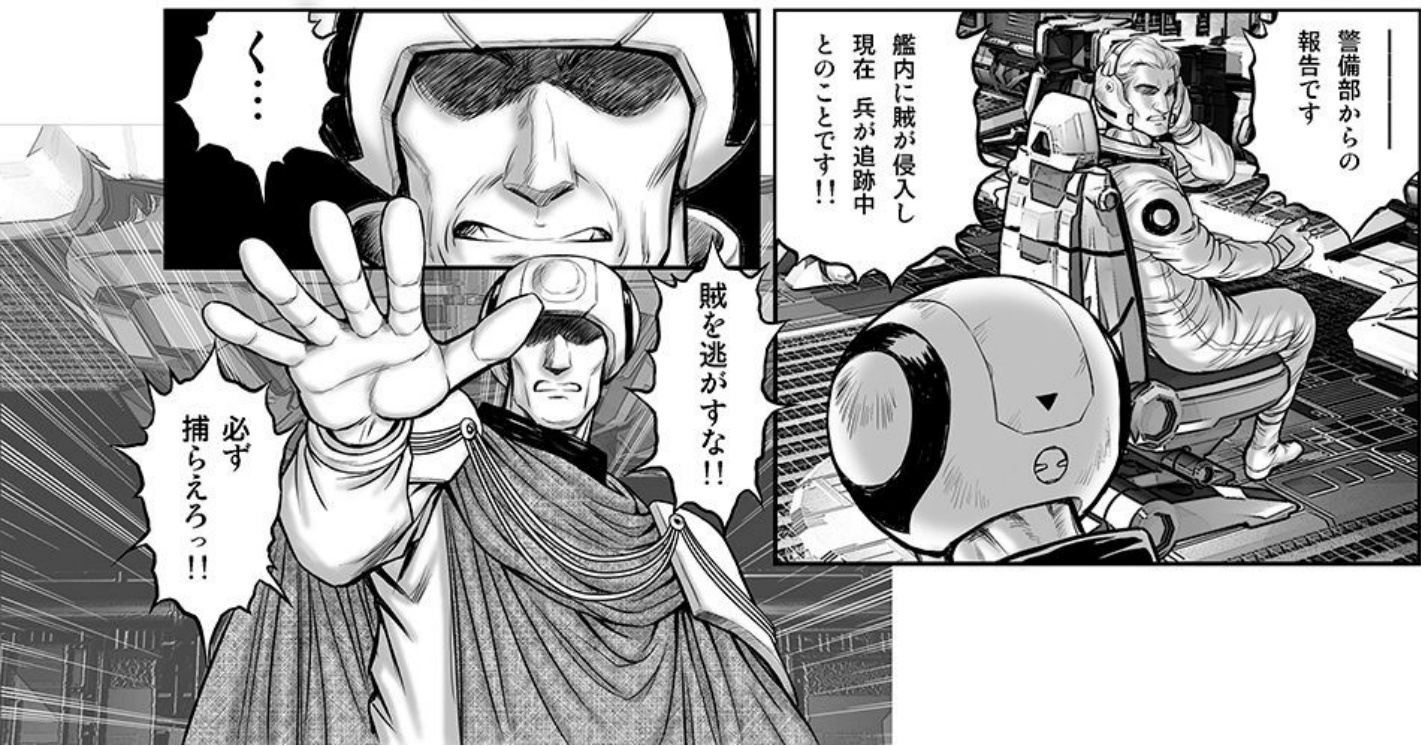
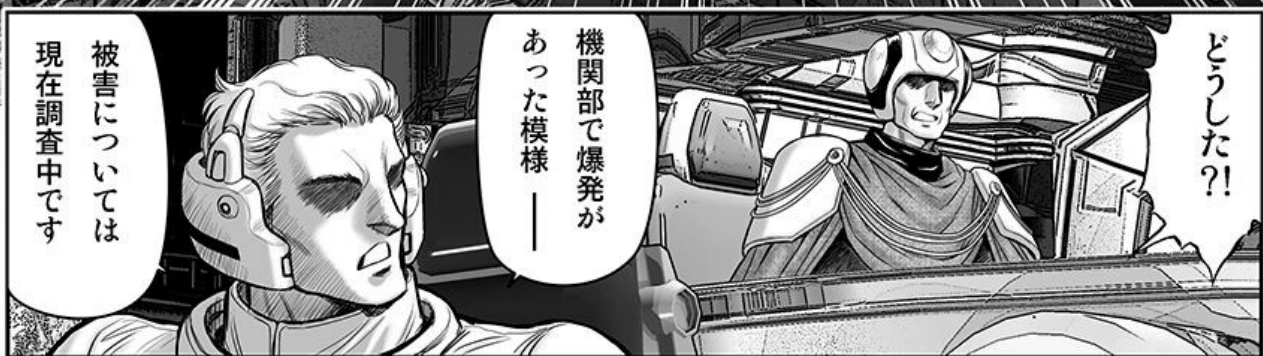
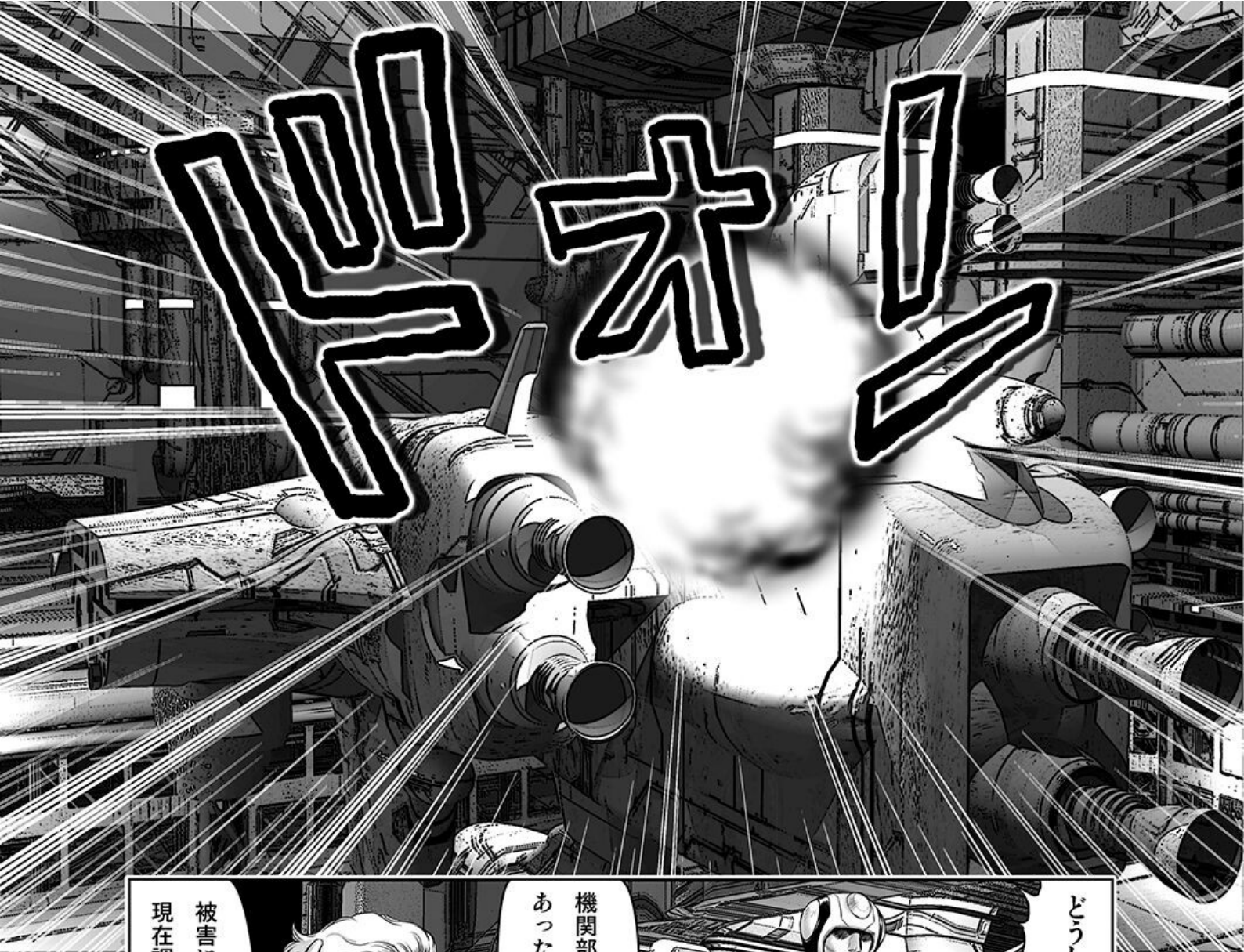
むぐぐっ!!

ズンドコズンドコズンドコズンドコズンドコズンドコ



こつこつとあはは
夜の闇ごと
素っ裸で
路上で身体を売り
続けました

——いえ
自ひますんで犯され
凌辱されたと
言っただ方がいい
かもしれません



ブイイイイン



とにかく奴等を
振り切らないと

礼なら
あとだ



手伝ってくれて
ありがとネ

これで帝國軍の
船を足止め
できたアル



やったア!!

ブイイイイン

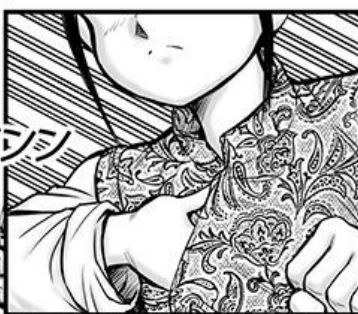


ブイイイイン

待てエ!!

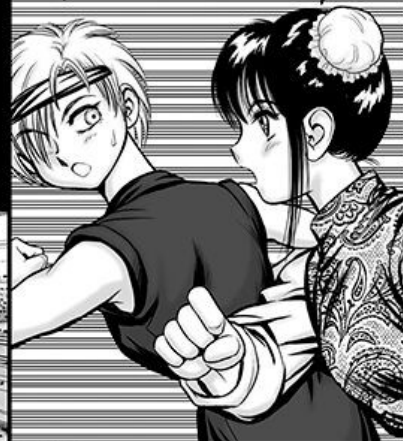


ブイイイイン



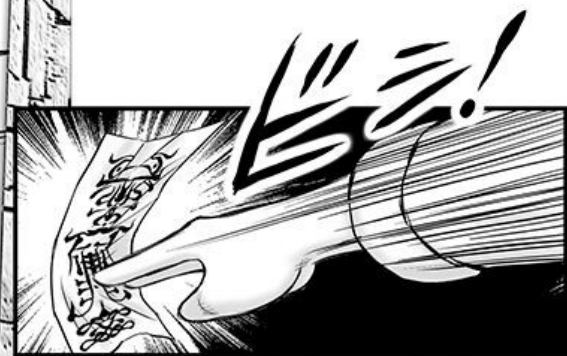
次の角を
曲がったら
あたしに
任せてネ

OK!

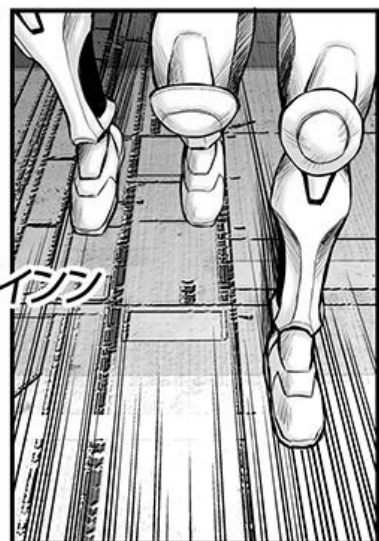
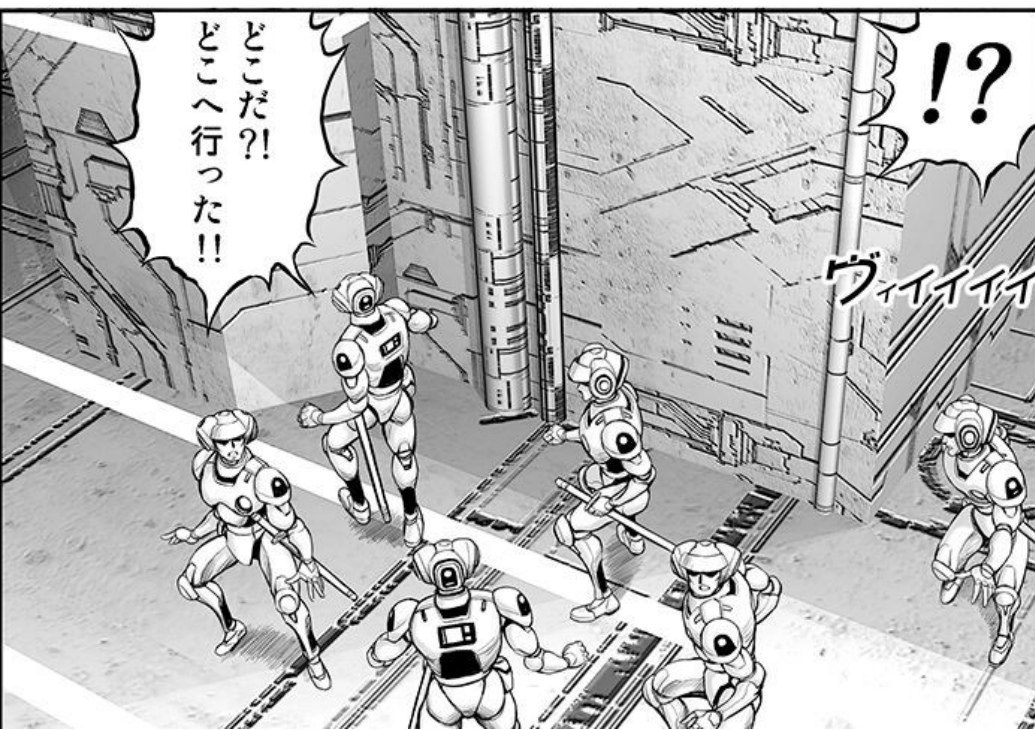
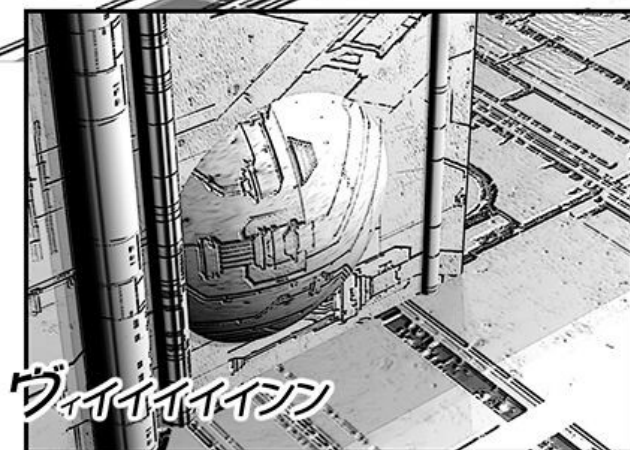


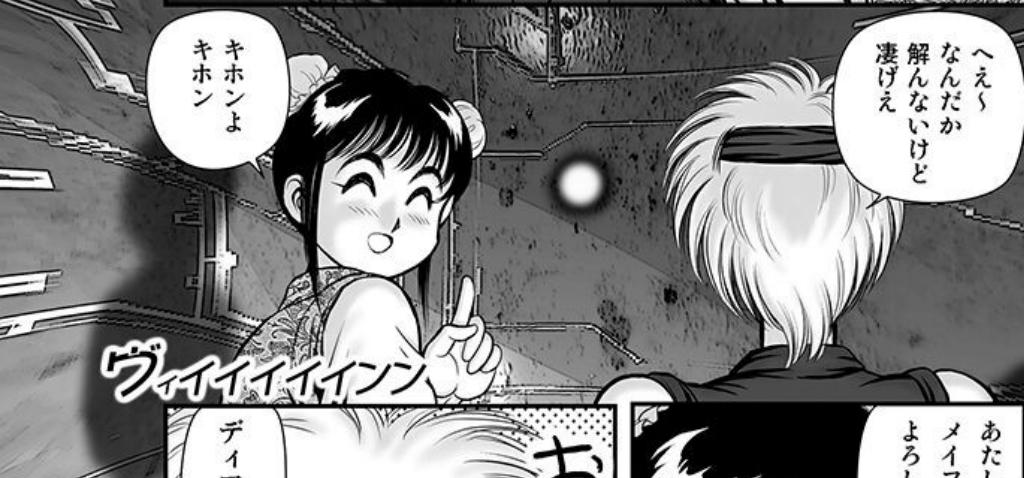
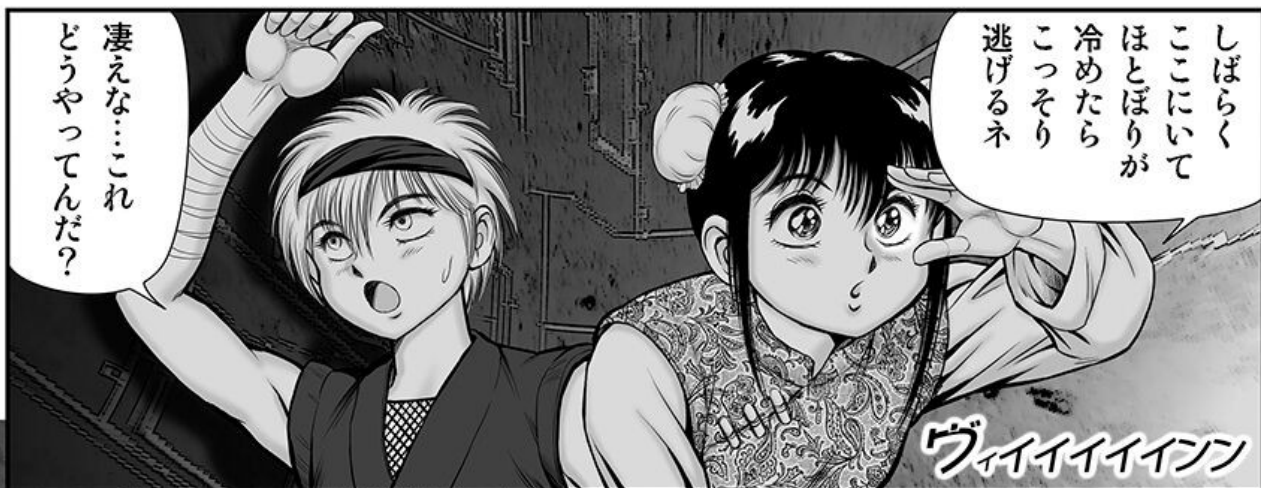
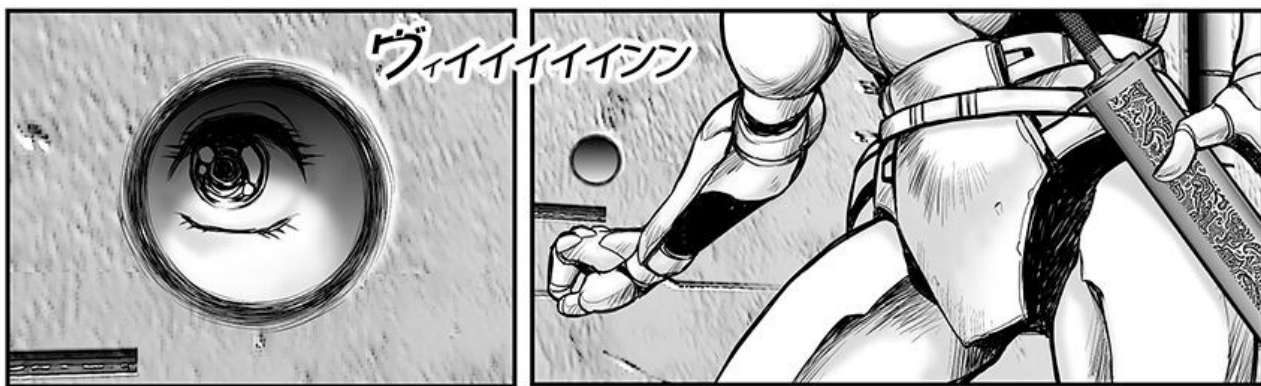
お…おい
どうする
つもりだ?

ブイイイイン



ヴィイイイイン

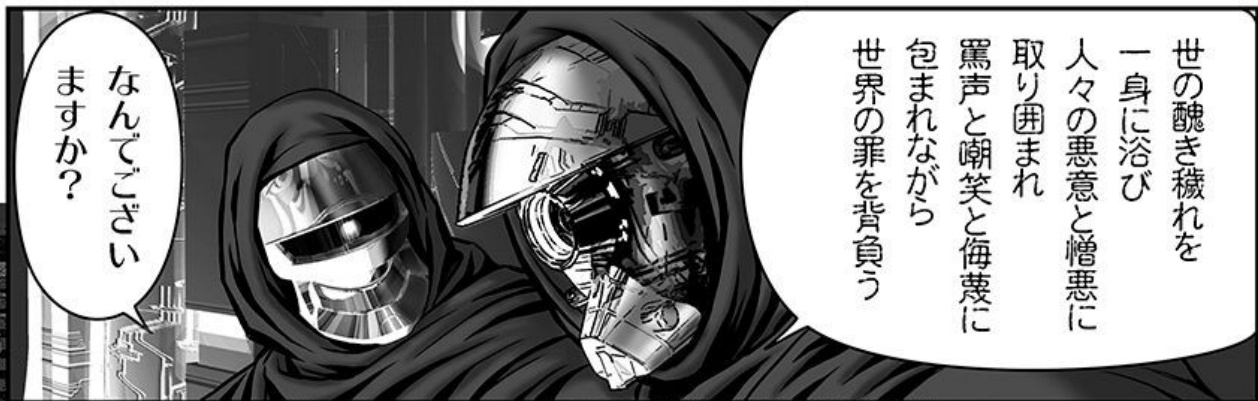






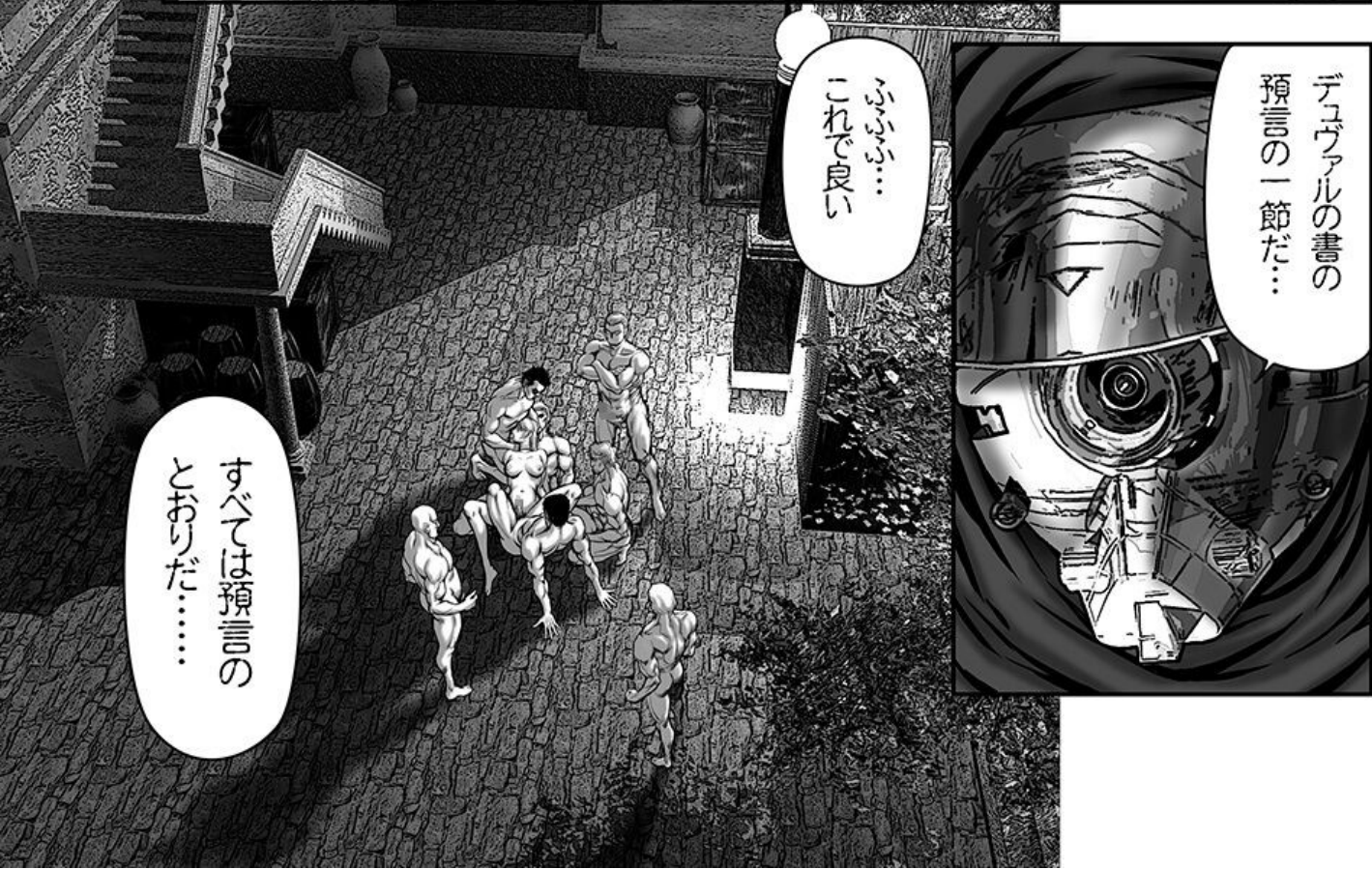
その者 永遠に
生まるる事なき
胎児をその身に
宿し――

穢れなき乙女にして
聖なる娼婦であり
慈愛に満ちた母なる
存在なり



世の醜き穢れを
一身に浴び
人々の悪意と憎悪に
取り囲まれ
罵声と嘲笑と侮蔑に
包まれながら
世界の罪を背負う

なんでござい
ますか？



デュヴァルの書の
預言の一節だ…

いんじん…
これで良い

すべては預言の
とおりだ…



やがて
この世界に
生きるすべての
者たちは知る
であろう…

この世界が
神の裁きを待つ
ための“牢獄”で
ある事を…

じゃあな

これからも
肉便器として
しっかり
頑張んな

夜が明ける頃
疲れ切ったあたしは

なんだ？
あれ…

全身精液と汗と
汚物に塗れながら
路上にその裸身を
横たえるしか術が
ありませんでした

奴隷娼婦よ
嫌だわ…

あたしの股間からは
あたしを犯した
人たちの精液が――

汚ねえな
全身汁塗れ
だぜ…

留まる事を
知らず
ドロドロと
流れ出し
ました…

不思議な事に
数人の男たちに
身体を売れば
治まるはずの
淫らな肉体の
昂まりは――

むしろますます
強くなって
行きました…

それが証拠に
あたしの肉棒は
射精して果てた
後も屹立し続け

コ
ン
ツ

子宮の中に注がれた
穢れた欲望を溢れ
させるかのように
間歇的に精液を
吐き出し続けたの
でした

あとがき

中継都市ディーヴァは小惑星の内部をくり貫いて作られた街であるが、なんでそんな街に昼夜が存在するのかと言うと、魔道力学の技術によって近傍の天体から切り取った空間から恒星の太陽光を（有害な宇宙線はフィルタリングされて）取り入れているという設定になっている。これは本文の登場人物、竜神族の見習い僧侶メイファンが使った僧術とも近しいメソッドを応用したもので、時空間をコントロールする技術による様々な応用によってあの都市は成り立っている。

ちなみにこの都市は機械人自治領で、かつてフェデル＝ヴァーンの六聖霊教会によって弾圧を受けた魔道士たちの亡命先の役割を果たしていた。そういう経緯もあってこの都市には有数の魔道士が集い通商連合や辺境国家の諸侯たちの出資により王立魔道力学研究学院が設立された。

さて暗闘編より登場した目つきの怖いおっさん、グレンデルも魔道力学の権威として学院の客員教授の教鞭を執る傍ら、なにやら怪しい研究をしている謎の人物である。次回以降からマヤとも絡んでSMプレイとは一味違った如何わしい展開が始まる予定なのでお楽しみを。

P.S グレンデルの着用しているモノクル、本来あれは必要な時だけはめて使うものなのだが、キャラを立てるための一種の道具立てとして顔の一部と見做している。貴族っぽいスカした感じを出したかんだよね。

んじゃ、またね！

このどんと



奴隷戦士マヤ暗闘編 次回予告

脳内妄想の両親にまで見捨てられた
マヤにさらなる過酷な試練が襲い掛かる!!
マッド・サイエンティスト
狂気の天才科学者か

はたまた鬼畜な変態おやじか
(どっちにせよロクなもんじゃない)

魔術師グレンデルによる人体実験の
スケープ・ゴートにされるマヤを
待ち受ける想像を絶する運命とは?!

おくづけ

平成18年4月10日 発行

企画/制作: WILD DUCK

著者: このどんと

印刷: 共信印刷株式会社

禁無断転載

SLAVE WARRIOR MAYA
-Chapter of the secret strife- volume3



presented by WILDDUCK









